

外張り断熱工法

断熱厚50mm超～100mm以下
横胴縁 限定基準

1-6 横胴縁仕様 各部の規定

⑦出隅部の胴縁施工について

⑦-1 施工注意事項(共通)

- ・ 留付ビスの躯体(柱)端空き距離は、15mm以上としてください。
(断熱厚が厚く施工時にずれやすいため、設計上15mm以上としています。)
- ・ 留付ビスの胴縁端空き距離(幅方向)は、30mm以上とします。
(これ以上端部へ留め付けると、胴縁が斜めに転びやすくなります。)

下記の表は、使用する断熱材の厚みによって使用する出隅寸法や胴縁幅の例を記載しています。
(条件:柱105角、耐力面材9mm、胴縁18mmの場合)

・ 断熱材厚み75mmの場合

同質出隅の内寸 サイディング 厚み	内寸70mm	内寸80mm	内寸90mm	内寸120mm
14mm	②	②	②	①
16mm	②	②	②	①

・ 断熱材厚み100mmの場合

同質出隅の内寸 サイディング 厚み	内寸70mm	内寸80mm	内寸90mm	内寸120mm
14mm	③	③	③	②
16mm	③	③	③	②

①: 胴縁幅90mm

②: 胴縁幅120mm

③: 木棧(断熱材厚み)×150mm

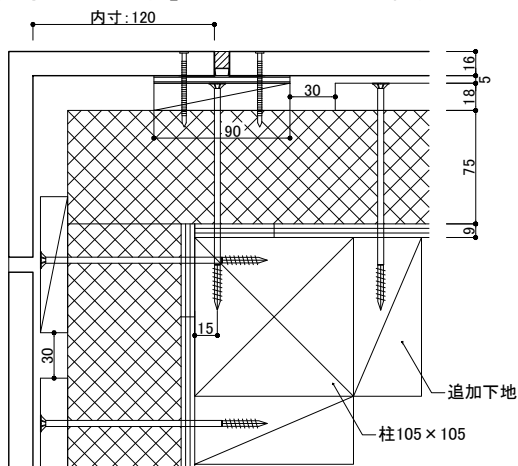
⑦-2 標準施工条件:同質出隅内寸120mm使用の場合

- ・ 同質出隅は、内寸120mm以上のものを使用します。
- ・ 出隅部縦胴縁は、90mm幅もしくは120mm幅で下記図を参考に施工します。

納まり例となります。(※該当部を分かり易くするため、出隅の片側のみの納まり図としております)

同質出隅内寸120mm 胴縁90mm幅 金具施工

「断熱厚75mm+面材」でのシーリング仕様施工例



同質出隅内寸120mm 胴縁120mm幅 金具施工

「断熱厚100mm+面材」でのシーリング仕様施工例

